

8月の政治・経済イベント

重要 01 米国ではインフレが引き続き加速

米国では経済活動の再開と供給網の阻害により、インフレが続いています。中古車価格や住宅価格は高騰しており、消費者の高額商品の購入環境は悪化しています。加えて、労働市場における企業の雇用確保に向けた賃金上昇の動きもインフレを押し上げる可能性があります。また、米国では国民の約50%がワクチン接種を完了している一方、州ごとに接種状況に差があるようです。感染が再拡大している新型コロナウイルスの動向にも注意が必要です。


重要 02 日本では再び行動規制

日本ではワクチン接種ペースが加速していますが、欧米と比較すると遅れています。また、感染拡大により東京都では4度目の緊急事態宣言が発出、東京オリンピックは大半の会場で無観客での開催が決定される等、7月は再び規制が強化されました。日本の経済正常化は従来期待していたより後ずれする可能性が出ており、日銀による大規模な金融緩和は今後も維持されると予想しています。

重要 03 コロナとの共生を目指す英国

欧州ではワクチン接種が進んでおり、国際間の移動制限が緩和されてきましたが、感染者数は増加傾向です。これを受け、フランスではワクチン接種の義務化、ドイツやスペインでは行動規制が再び強化されています。一方で、英国では感染者が今年1月のピークに迫りつつある中で、新型コロナウイルス感染抑制に関するほぼすべての規制が解除されました。感染再拡大の状況下での経済再開に際して、英国がコロナウイルスとの共生を実現できるか否かに注目です。

8月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
2日(月)	米国 	ISM (サブライマネジメント協会) 製造業景況感指数 (7月)
5日(木)	英国 	金融政策発表
6日(金)	米国 	雇用統計 (7月)
8日(日)	日本 	東京2020オリンピック閉会式
11日(水)	米国 	消費者物価指数 (7月)
16日(月)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資 (7月)
16日(月)	日本 	4-6月期GDP (1次速報値)
17日(火)	米国 	鉱工業生産指数、小売売上高 (7月)
27日(金)	米国 	個人所得、個人消費支出、個人消費支出デフレーター (7月)
31日(火)	日本 	鉱工業生産指数 (7月)

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。